

【授業科目】生化学

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
千原 猛	1年次前期	必修	1	15	講義	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	専門科目の臨床化学の前知識として基本的なことを習得しておくものである。タンパク質、糖質、酵素、脂質、ビタミン、ホルモンに区別をし、それぞれの内容について詳細に学ぶ。タンパク質では、タンパク質を構成するアミノ酸の種類、構造、性状、および一次構造から立体構造までの構造、アミノ酸の代謝、機能を理解し、糖質と脂質では、構造と機能、糖代謝、脂質代謝、ビタミン、ホルモンでは、それぞれの物質が、生体の中でどのように合成・分解され、働くかを把握する。						
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	・生化学の基本的な蛋白質、糖質、酵素、脂質、ビタミン、ホルモンなどの種類、構造と機能を理解する。						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>高校の化学・生物を復習しておきましょう。高校で履修していない人は基礎化学、基礎生物学の履修が望ましい。</p> <p>事前：高校の化学・生物を見直すこと。 事後：毎回学習したポイントについて、よく復習をする。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	第1回 総論 第2回 糖質の構造と糖質代謝 第3回 脂質の構造と脂質代謝 第4回 蛋白質の構造と代謝 第5回 酵素の構造と機能 第6回 核酸の構造と代謝 第7回 ホルモン 第8回 細胞内情報伝達						全て 千原
評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 100% 学期末試験						
教科書	臨床検査学講座 『生化学』 医歯薬出版株式会社			参考書等	『イラストレイテッド生化学 原書7版』丸善出版株式会社		
学生へのメッセージ	生化学は専門分野科目に関連する基礎的な内容が含まれます。内容をしっかり理解しましょう。						